

感謝録

荒井 久和子姉	不破 満雄兄	加納 幸子姉
小坂 るみ姉	三縄 博兄	三縄 都美子姉
下竹 博兄	下竹 寛子姉	下竹 祐三郎兄
武井 里花姉	近澤 武兄	小針 勇吾牧師
小針 恵子姉		

記事:消息

* 過ぎにし聖日(10月13日)

一 小針勇吾牧師の説教の前に、恵子奥様が特別贊美をしてくださいました。ロマ書14章8—9節の”わたしたちは、生きるのも主のために生き、死ぬのも主のために死ぬ。だから、生きるにしても死ぬにしても、わたしたちは主のものなのである。”の御言葉について、短く話されたあと、この言葉に作曲された贊美の歌を独唱してくださいました。

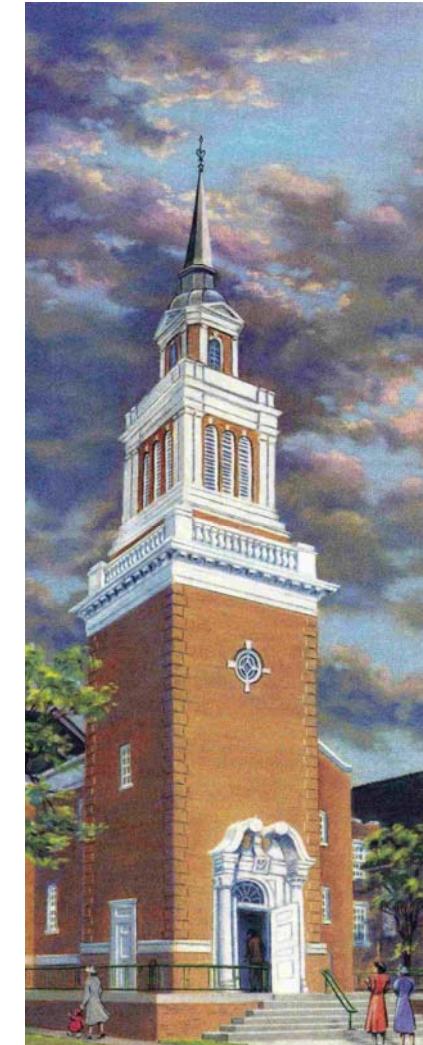
小針牧師の説教は、”さまざまな試練に会うとき”と題して、ヤコブの手紙1章2—4節を中心話されました。私たちは、どうしたら試練に打ち勝つことができるのでしょうか。一番大切なことは、試練を喜ぶことです。ヤコブは、彼の手紙の1章2節で、”さまざまな試練、すなわち信仰の試練に出会うとき、それをこの上もない喜びと思いなさい。”と言っています。私たちは人生において、本当に神はいるのかと疑いたくなるようなひどい出来事に出会うことがあります、そのような時に、神なんかいないと言って不信に陥るか、神を信じ喜んで試練を受けるか、私たちは重大な岐路に立たされます。そして、このような試練に出会うたびに、私たちの信仰がためされ、私たちのうちに忍耐が培われてきます。希望が生まれてきます。”試練を耐え忍ぶ人はさいわいであります。それを忍び通したなら神を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるであろう。”(ヤコブの手紙1章12節)。

* 10月20日(日) 11:30 am—12:30 pm Room 315

今年は、Adoniram Judson が妻 Ann と共に、伝道ミッションでビルマに到着してから200年に当たります。彼の伝記として作られた”Adoniram Judson, The Man and the Mission”という1時間の Video/Discussion をPastor Carol の解説で見ます。11:30 amからのプログラムに合わせて、日本語部の礼拝は10:30 amから行なわれますので遅れないようにしてください。

発行: 2013年 10月 15日 ノースショア・バプテスト教会日本語部
スクリギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)

Tel: 773-728-4200 Ext.26 Email: yscroggins@northshorebaptist.org



週報

第3456号
2013年 10月 20日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Congregation

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Tel: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

日曜日礼拝順序

2013年 10月 20日 午前10 30分 南部チャペル

前奏	武井 里花姉
頌栄	539
開会の祈り	Scroggins 由紀牧師
主の祈り	一同
交説文	41 マタイ伝 5章
賛美歌	7 "主のみいつとみさかえとを"
祈りの時	Scroggins 由紀牧師
聖書拝読	不破 満雄兄
	マタイによる福音書 24章 32-39節
賛美歌	352 "あめなるよろこび こよなき愛を"
説教	「人の子の現れ」 Scroggins 由紀牧師
賛美歌	310 "しづけいのりの ときはいとたのし"
献金	下竹 博兄
報告	
頌栄	541
祝祷	Scroggins 由紀牧師
後奏	武井 里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)	

祈祷・聖書学習会 午前9時45分 109号室
ローマ人への手紙 13章

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

今週の聖句

エレミヤ書 31章 27-34節 詩篇 119篇 97-104節
テモテへの第二の手紙 3章 14節 一 4章 5節
ルカによる福音書 18章 1-8節

憩いの場

心と体の平安 (5)

"人の怒りは神の義を全うするものではない。" (ヤコブの手紙1章20節)

私たちは自分の思い通りに物事が進まないときにフラストレーションを感じますが、それをそのままにしておくと、怒りの感情がわいてきます。人間には喜怒哀楽があり、私たちは怒りも自然な感情の表れと考えるかもしれません、聖書は怒りに関して対処するようにと言及しており、人の怒りは神の義を全うするものではない、と書かれています。しかし考えなければいけないのは、人が怒るのには原因があり、怒りをコントロールすると共に、その原因を対処する必要があるということです。単に怒るな、というだけでは問題の解決にはなりません。その場で怒りをコントロールできても、別の場で現れたりすることもあります。職場や家庭、様々な人間関係において、フラストレーションや怒りを感じている人は、祈りにおいてご聖霊の導きにより、怒りを平安に変えると共に、抱えている問題を直視して、具体的な解決法を試みるべきでしょう。怒りは伝染し、家族やコミュニティー全体を汚すこともあります。怒りの問題を感じている方は、まず神の御前で悔い改め、怒りの原因に対して現実的かつ具体的な解決方法を模索されますように。神は真実な方であり、また私たちの悔い改めに答えてくださり導いてくださる方です。どうか、私たちの生活がご聖霊の導きがあり、怒りにコントロールされず、心の平安を保つことができますように。